

令和7年度 第2回学校運営協議会

令和7年10月8日（水）14時30分～ 於：多目的室

1 会長挨拶

2 校長挨拶

○ 開催要件確認

3 議長の選出

4 前回会議録の確認

5 協議

(1) 学校評価（前期）について 主幹教諭

(2) 令和8年度の学校運営の基本方針について 校長

(3) 部活動の地域展開について 校長

6 報告

(1) 学校施設の大規模改修について 教頭

(2) 発達支援学級について 校長

7 連絡

(1) 第3回（案） 令和8年1月21日（水）14時30分 議長：

○ 学校関係者評価

(2) 第4回（案） 令和8年2月25日（水）14時30分 議長：

○ 令和8年度学校運営の基本方針について

○ 学校運営協議会自己評価

○ 夢育やらまいか事業CS加算分の報告

(3) その他

令和7年度1学期学校評価アンケート（生徒）

項目	肯定的回答 (%)				
	目標値	1年	2年	3年	
※授業が分かる	80	各教科のアンケート参照			
①私は1週間を平均して、1日1時間以上、家庭学習に取り組んでいる。（塾等を含む）	60	53.2	45.4	57.1	
②私は、授業でしっかりと話を聞いている。	80	85.2	86.7	92.1	
③私は、授業で「もっと知りたい」と思って取り組んでいる。	70	63.4	75.3	67.1	
④私は、学校が楽しい。	90	87.2	86.8	82.2	
⑤私は、学級が安心できる。	80	85.3	78.2	78.3	
⑥私は、さわやかな挨拶をしている。	80	58.3	79.9	68.5	
⑦私には、夢や希望がある。	80	71.2	80.5	66.4	
⑧私は、毎朝、朝食を食べて登校している。	100	87.9	88.5	85.0	

(1) 開成中学校の生徒には、どのような力を身に付けさせたいですか。

- 他人を思いやる行動や発言ができるようにしたい。
- 自他を尊重し、集団でも個人でも考えて動ける力。
- 粘り強さ 思いやり 基礎基本の定着
- 開成中の生徒は純粋なので、どんなことに対しても懸命に頑張る。しかし、自ら考え行動するという点については十分でない。能動的で言われたこと以外は積極的に取り組もうとする生徒は少ない。自ら考え、積極的に取り組む姿勢が必要である。
- あいさつや話を聞くなどの、人との基本的なかかわり方や相手を尊重する気持ち。
- 先を見通して、自分がどう振る舞うべきかを考えて行動する力。"
- 思いやり
- 自分の思いや考えを、言葉で表現する力（言語化する力）
- 自己管理能力や自己調整力
- 自分を大切にするとともに他者を尊重し、他者と協働しながら夢（目標）の達成に向けて主体的に粘り強く取り組む力（自己肯定感・コミュニケーション力・主体性・行動力・我慢強さ）
- 謙虚さとたくましさ
- 自分自身の強みを知り、それを社会にどう生かすかを考えさせたいです。よいものを持っていても伸ばし切れていないと思います。
- 自ら考え、判断できる力
- 多様な環境下でも、自分を確立し、将来を見据えて生活していく力
- 自己調整能力
- 自分が使える力で課題を解決できるようになる力。
- 夢や目標に向けて、自ら学ぶ意欲をもって取り組む力 人とよい関係性を築く力
- 周りの人も自分自身も大切にする力
- 礼儀・マナー・自分本位にならないようにすること。
- キャリア教育の「自律」地域に貢献する人、「自立」自己実現への努力を身につけさせたい。
- 思いやり。気配り。
- 自分と周りの人を大切にしようとする心（人権意識） 自分の将来を見据え、計画的に粘り強く努力しようとする姿勢
- 面倒くさいこと、苦しいこと、困難な事に対しても勇気をもって立ち向かい、すぐに諦めないで、自分のためにも、みんなのためにも粘り強く継続的に取り組みさせたい。
- 自らの力で自らの人生を選択し切り開いていく力
- 自分が発する言葉を大切にすること、周りの人の気持ちを考えて行動すること、自分自身を大切にすること、みんな同じではなく違いを認め尊重すること

(2) 令和8年度の学校教育目標を次の中から選び、その理由を書いてください。

- | | |
|----------------------------|-----|
| ① 夢に向かい共に磨き合う心豊かな生徒の育成（現行） | 8人 |
| ② 自他を尊重し主体的に行動できる生徒の育成 | 22人 |
| ③ 自立 協働 創造 | 2人 |
| ④ その他 | 2人 |

(3) (2)で選んだ番号（①～④）を文頭に記入し、あなたの選んだ目標に対する思いや理由を書いてください。「その他」の場合は、あなたの考える学校教育目標と思い・理由を書いてください。

①生徒の様子を見て、「共に磨き合う」意識の向上が必要だと思うから

①「夢」という言葉や子供にとっても大人にとってもわかりやすくてよいと思います。外国にルーツのある生徒も多いので、わかりやすい表現がふさわしいと思います。

①夢や目標に向かって、自分一人ではなく他の人とも協力しながら様々なことを学び成長してほしいから。

①「自立」自己実現への努力し、自分の未来に向かって日々、心豊かな人間に成長してほしいという思いです。

①自分勝手に行動したり発言したりする子が多いから。共に磨き合える関係性をつくるように教員で環境を作つてあげないといけないと思ったから。

①粘り強く、あきらめず、継続的に取り組めば夢や目標に近づき、成長できるはずなのに、意思が弱く、すぐ諦める。弱音を吐く、楽なことやただ単に楽しいことだけを追究することではいけない。実現させるためにはそれなりの努力が必要であることや友人との励ましや認め合いも大切であること。

①夢がある子ない子限らず、今後の未来を作り上げていく子供たちの将来の選択肢を教員として広げていきたい。そして、子供たちは自分の夢に自信をもち互いに励まし、他を思いやる、心をもつて欲しい。また、様々なことに対して、粘り強く頑張るたくましい心身をもつてほしい。

①中学生は義務教育修了と共にいよいよ進路選択が迫られる。自分の未来の姿を描き、方向性をもつことは必須のこと。外国では中学進学前にある程度の進路選択を迫られる国が多い。つまり、日本の中学生と同年齢程度の子どもがすでに自分の進路について真剣に考えるのが標準。そこにお互いに磨き合う集団があれば理想的と考える。高校になってからでは、共に磨き合う集団のよさが味わえない。

②(1)の思いと、主体性の必要性を日々感じているためです。

②本校の特徴である多国籍であること、生徒指導案件が多いことから、自分と他者との違いを受け入れ、自分も友達も尊重するようになってほしいという思いで選びました。

②開成中の生徒は、言われたことに対しては一生懸命がんばるが、現状を維持するにとどまることが多い。社会に出てからは、人に指示されることなく、自ら考え、実行していくことが重要である。この主体性が今の開成中の生徒には欠けていると思われる所以②の目標設定を選択した。

②自分の主張はするが、相手を尊重するという姿勢に欠けるので、それを見につけて

ほしい。

- ②自分の都合だけでなく、全体のことを考え、自他を大切にできる生徒が育ってほしいと思います。
- ②これから時代を生きていくために、他者を尊重しつつ、自らのことも大切にし高めていける力が必要だと思うから
- ②グローバル化が進み、多様性と包摶性が重要視される今の社会において、これまで以上に他者を尊重し、他者と協働することが重要になると感じているが、他者を尊重するためにはまず何よりも自分自身を大切にできなければならない。そして、個人と社会全体のウェルビーイングを実現するために夢を持ち、その達成に向けて主体的に行動できる人間になってほしい（そのためにはあきらめない我慢強さも必要）と考えているので②を選んだ。
- ②自分目線で物事を考えている生徒が多いので、相手目線、集団目線で考えることができる生徒になってほしい。また、親の力、先生の力に依存している生徒が多いので、もっと自分の力で課題を乗り越えること、その結果に対して自分で責任をもつことができる生徒になってほしい。
- ②生徒は学校の中で、学級や縦割りなど「仲間や友達」に支えられ成長していく。そこで、自分だけでなく仲間も尊重してほしいから。自ら選択し、自ら進んでいく力を養ってほしいから。
- ②苦しいことがあっても立ち直れる力や、自分で考えて行動してほしいと思ったから。
- ②開成中の生徒は自主性に欠けると感じているからです。「教師が答えをくれる」、「教師が何とかしてくれる」と思っている生徒が多く、社会に出た時に自己の力で進路を切り開いていけるか、とても心配です。
- ②『自他を尊重する』という点が開成中の生徒には必要だと感じています。(1)で書いたように、自分の思いばかりを優先するのではなく、他者の立場も考えられる人間にならなければ、卒業後も人間関係で悩むことになります。自他を大切にできる人を育てたいです。
- ②現在の生徒の様子はとても心配です。平気で決まり（ルール）をやぶる。それを注意してくれる先生方、友達への態度も良くない。それが良しとなる空気だけは許したくないと思います。「自他を尊重」できる人間になってほしいです。
- ②「自分なんて」と考えている子が多く、自分で考えて行動できている子が少ない印象がある。自分や他者に優しい生徒、自分に自信を持ち、積極的に行動できる生徒が増えて欲しいと思いました。
- ②(1)で答えた身に付けさせたい力を表現しているから。
- ②自分をまず大切にする生徒を育てたいです。また、他の人に支えられているという事に気付いてほしい。
- ②生徒には、学校に来ることが楽しい、学ぶことが面白いと思ってもらいたいです。そのためには、生徒が自ら行動する主体性を高める必要があります。将来の夢や日々の小さな目標に対して、意欲的に取り組む力をつけさせたいため②を選びました。
- ②自分自身や周りの人を大切にするというポイントが「自他を尊重し」という言葉に含まれていると思うから。現行の「夢に向かい」という部分が「夢を持てていない」

生徒が多い現状とあっていない。まずは、自分も相手も尊重される空気がないと、夢をもちたくてももてない環境になってしまふのではないかと考えるため、②を選んだ。

②現在、生徒の様子を見ると、自分のやりたいことや自分の気持ちには、良い意味でも悪い意味でも正直に生きていると思う。他人を尊重し主体的に行動して欲しい。

②・規範意識や自己を律する強さも含み、自分を大切にする生徒であってほしい。

・「人権」について正しく理解し、他者を受け入れ、協調・協働できる生徒であってほしい。

・自分が今何をなすべきかということを常々意識させたい。

②これからの中学校では、自らで考え行動できる人材が求められる。生徒の将来を見据え、主体的に行動できる生徒の育成が必要だと考えた。

②友達がどう思うか考えずに発言したり、人と違うことをからかったりすることでトラブルになることが多かったので、お互いを尊重できる空気を作りたい。「やりたくない」という言葉をよく聞くが、何だったらできるのか、何をどうすればみんなが取り組めるのか自分たちで考えて行動できるようにしたい。

③多様な家庭環境がある開成中学校区で、温かい家庭で生活できている生徒もいれば、育児放棄に近い形で生活している生徒もいるという、多様な環境下で学校生活を送っている生徒たちが、将来を見据えた目標を明確にしやすいと感じました。シンプルかつ、明確に、が良いと思います。教員もこの方向性に生徒たちを育成していく、というビジョンをつかみやすいのでは、と感じました。

③文章ではなく、3つの単語に分けることで学年やクラスへ下ろしたときにそれぞれで応用が利きやすいと思った。指導に利用する際も単語の方が分かりやすいと感じた。

④お互いを思いやり行動できる生徒の育成

「主体的」というのは、開成中の生徒にとっては、まだまだレベルが高い段階にあると思う。まずは、互いを尊重した言動がとれるようにすることが必要だと考えた。また、やさしい日本語で表現した学校教育目標にしたい。

④開物成務が表す開拓の精神と、学習指導要領にある予測困難な社会を生き抜くための資質能力を育む、は重なる部分が大きいと思います。開成中らしい言葉でも良いかと思いました。

	令和7年度	備考
総生徒数	19,819人	R6:19,847人
設置部活動数	612	運動部:460 文化部:152 R6:626(運動460、文化153)
休日に地域展開を検討している部活動数	522	R6:520
部活動加入率	80.0%	R5:84.7% R6:83.0%
中学校地域クラブ登録数	126クラブ ^(37校)	R6:129クラブ ^(43校)
部活動指導員数	62人	運動部54人 文化部8人

※中学校地域クラブ登録数及び部活動指導員数は、令和7年6月末現在

Hamamatsu City Board of Education

最新の国の動向～「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめより～

✓ 地域クラブ活動のあり方

◆学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要

＜新たな価値の例＞ 生徒のニーズに応じた多種多様な体験、学校等の垣根を超えた仲間とのつながり創出

✓「地域移行」の名称変更

◆地域クラブ活動の理念やあり方を的確に表すため、名称を「**地域展開**」に変更

◆地域クラブ活動の実施に当たっては、学校との連携は図る必要

✓ 今後の改革の方向性

◆次期改革期間「**改革実行期間**」：前期(R8～10)⇒中間評価⇒後期(R11～13)

◆休日については、次期改革期間内に原則全ての部活動において地域展開の実現

◆平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進

Hamamatsu City Board of Education

令和8年9月以降の浜松市における「休日の部活動の地域移行」イメージ図（令和6年7月発出）

平日

◎平日の学校部活動は継続

学校部活動

【位置付け】学校教育の一環

その学校の生徒が参加

指導者	教員・部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能
場所	在籍する学校及び近隣施設
費用	用具・交通費等の実費
補償	災害共済給付
○学校部活動として大会に参加することは可能	

休日

○休日は「地域クラブ活動」へ移行

(体制が整わない場合は、「部活動指導員による学校部活動」を経て地域クラブ活動へ移行)

地域クラブ活動

【位置付け】社会教育の一環

どの学校の生徒でも参加可能

運営団体 実施主体	中学校地域クラブ、スポーツ協会加盟団体、NPO法人、吹奏楽連盟加盟団体、総合型地域スポーツ・文化クラブ、民間事業者等
指導者	地域住民、指導を希望する教員（兼職兼業等）、運営団体・実施主体が派遣する指導者等
場所	学校施設、公共のスポーツ・文化施設、社会教育施設、地域団体・民間事業者等が有する施設等
費用	会費、用具代、交通費等
補償	各種保険等

【地域クラブ活動の基本理念】浜松市は、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現（持続可能な活動環境の構築）を目指します。

3



地域展開の主要パターン

(株式会社ASFEEL情報提供・一部改変)

1 自治体管理型

自治体主体でクラブの管理・運営をしています。主担当やコーディネーターを配置する必要があり、自治体内の負担は増えますが、外部への委託を行わないため、運営方法や予算をコントロールしやすいメリットがあります。



2 管理団体立上げ型

自治体主導で委託団体となる一般社団法人等を新設します。団体の理事は指導者、協会関係者、自治体担当者などが担当します。立上げ期は大変ですが、長期的にはコストを抑え、充実した活動環境を築くことができる期待されています。



3 民間管理委託型

自治体から外部に委託をしてクラブの管理・運営を行います。外部に委託するため手離れはしますが、委託費が膨大になるケース多いため長期的な財源試算を行なうことが重要です。地域に根差した総合型スポーツクラブやNPOと連携できる場合には、コストを抑えやすくなります。



4 個別クラブ認定型

自治体が地域クラブを認定し、保護者・生徒に紹介します。自治体からは手離れしますが、その後の運営は各クラブに委ねられるため、生徒の活動環境の質・量が確保されるかを慎重に見直す必要があります。生徒の活動環境を確保できるかどうかは地域特性に依存します。



浜松市

4

本市の方向性(全体)

5

✓ 地域の多様な団体が運営団体となって地域クラブ活動を運営

✓ 市が定めた要件を満たした団体を、市が認定する地域クラブ「はまくる」として登録

【認定要件】 ※各地域クラブが作成する規約に以下の点が明記されていること

- ①基本理念に沿った活動の目的及び活動計画
- ②複数の指導者や活動場所の確保等の指導体制
- ③コンプライアンス意識の徹底を図るための方策
- ④公正かつ適切な会計処理及び資金管理体制
- ⑤活動中のけがや賠償等のための保険への加入

✓ 「はまくる」加盟クラブへの支援

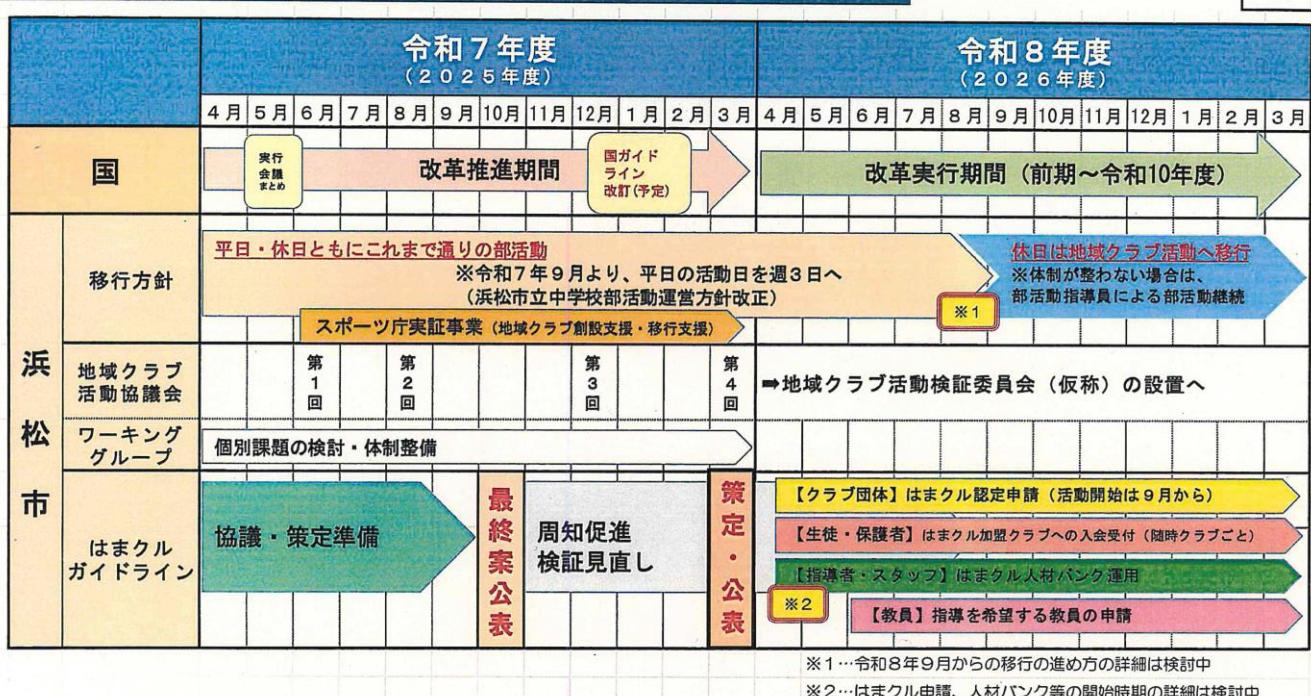
- ◆中学校施設の優先的かつ無償での使用
- ◆指導者の確保が難しいクラブに対し、人材バンクに登録する指導者をマッチング
- ◆クラブの創設や運営に関わる相談
- ◆クラブの運営負担を軽減するサービスの提供など



Hamamatsu City Board of Education

浜松市「休日の部活動の地域展開」ロードマップ

6



※1…令和8年9月からの移行の進め方の詳細は検討中

※2…はまくる申請、人材バンク等の開始時期の詳細は検討中